

湘南地域の広域拠点であり続け、次の時代の湘南・藤沢ライフを先導し、プロモーションする都心をめざし **新しい藤沢駅前づくりに取り組みます**

「藤沢駅周辺地区再整備基本構想・基本計画」に基づく事業計画(案)

I 主要な事業

都心部再活性化にむけて、市が主体となる主要な事業を示しています。この他に、民間事業者や鉄道事業者等が主体的に実施する事業や、連携して実施する事業等も想定されます。

■ 地区全体

再活性化及び良好な都市環境の形成にむけたまちづくりの誘導策づくり

まちづくり方針やガイドラインを作成する。また、必要により法的な制度として都市計画法等の活用を併せて検討する。

■ 北口駅前地区・・・ ① ② ③ ④

新たなにぎわいの創出をめざし、先導的な役割となる事業

平成26年度末の藤沢駅北口通り線及び東西線の完成に向け取組を進めている、さらに、銀座通り方向への回遊性等を高めるべく、平成28年度からの南北線の着手を目指し調整を進める。

■ 駅周辺街区<駅・市庁舎間>・・・ ⑤

地区の核である駅と庁舎を結ぶ軸線づくり

新庁舎建設に併せ、主に駅から庁舎までの動線として、国道467号を渡る歩道橋の架け替えと歩道拡幅等の整備を行うとともに、新館前広場の改修も併せて行う。また、段階的なまちづくりの観点から、駅前広場等に隣接する民間ビルの建替え支援・誘導を行う。

■ 駅街区・・・ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

藤沢駅・駅前の改良による、南北連携強化と新たな顔づくり事業

- 「南北自由通路」「北口駅前広場」「南口駅前広場」「地下通路」において、順次、事業を進める。
- 南北自由通路の拡幅や、鉄道間の乗り換え利便性の向上に向けJR・小田急と協議し、駅全体の改良の早期実現を取組む。
- 北口駅前広場では、藤沢宿・遊行寺等といった藤沢の歴史文化への誘いとなる空間形成を意識しながら、ペDESTリアンデッキの全面リニューアルとバリアフリー化、地上部での利便性向上への取組を進める。
- 南口駅前広場では、江の島・湘南の玄関口としての空間形成や江ノ電の見え方等に配慮しながら、自由通路と南北駅前広場のレベルを揃え南北連携の強化デッキの新設や、地上部での交通広場の再整備を行う。
- 地下通路では、明るさと使いやすさの向上をめざした、リニューアルとバリアフリーの取組を進める。

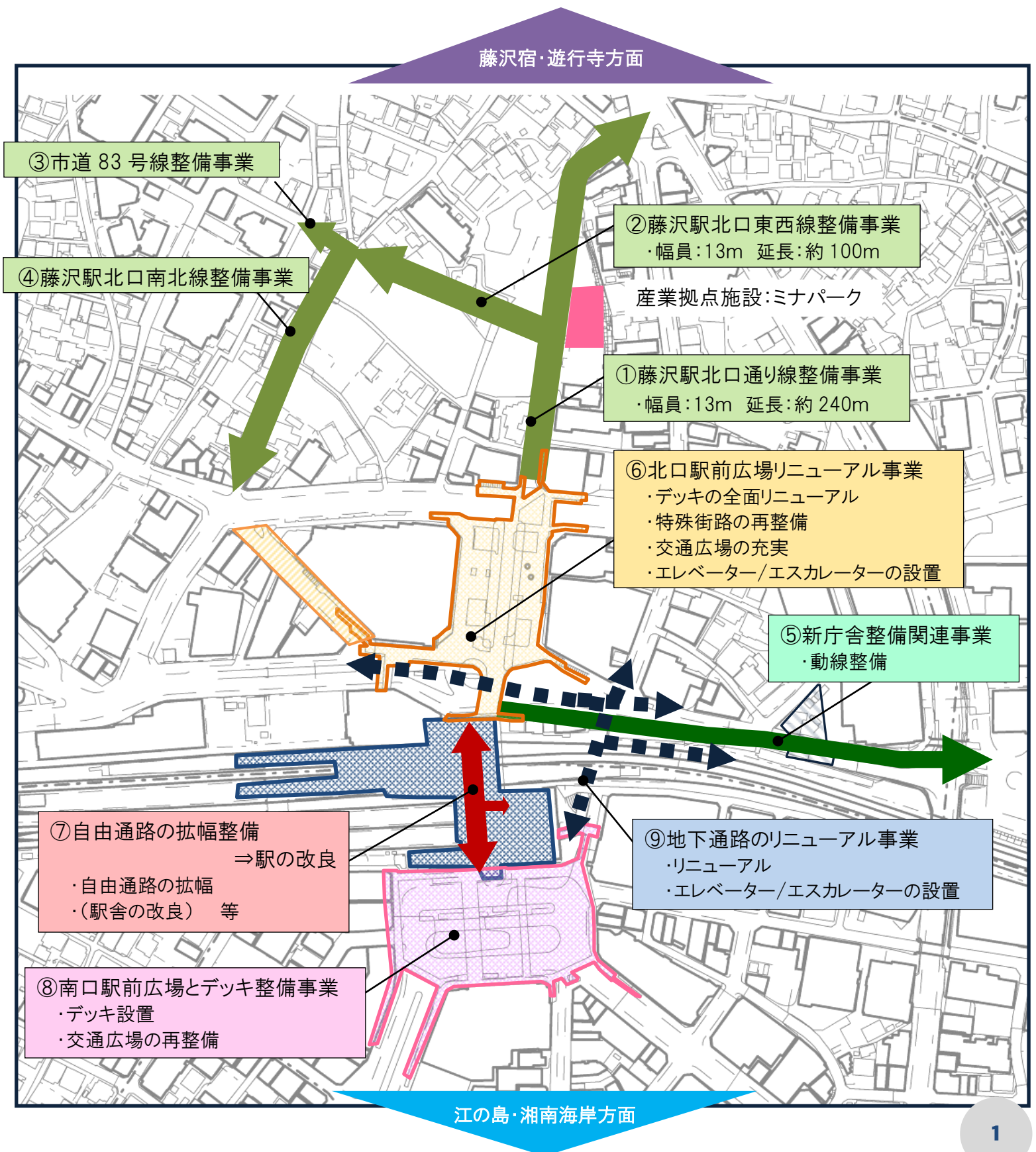
■ 商店街・通りのにぎわい・交流創出

藤沢駅から商店街・通りへと繋ぐオープンカフェ等のにぎわい創出を検討・促進する。商店街・通りのにぎわい創出事業については、経済部を中心に、藤沢宿・遊行寺等、藤沢の歴史・文化を活かしたまちづくり事業については生涯学習部を中心に事業展開を想定する。

■ 都市環境維持

駅周辺街区の外縁部において、まちづくりのルール化等、計画建築部と連携し取組む。

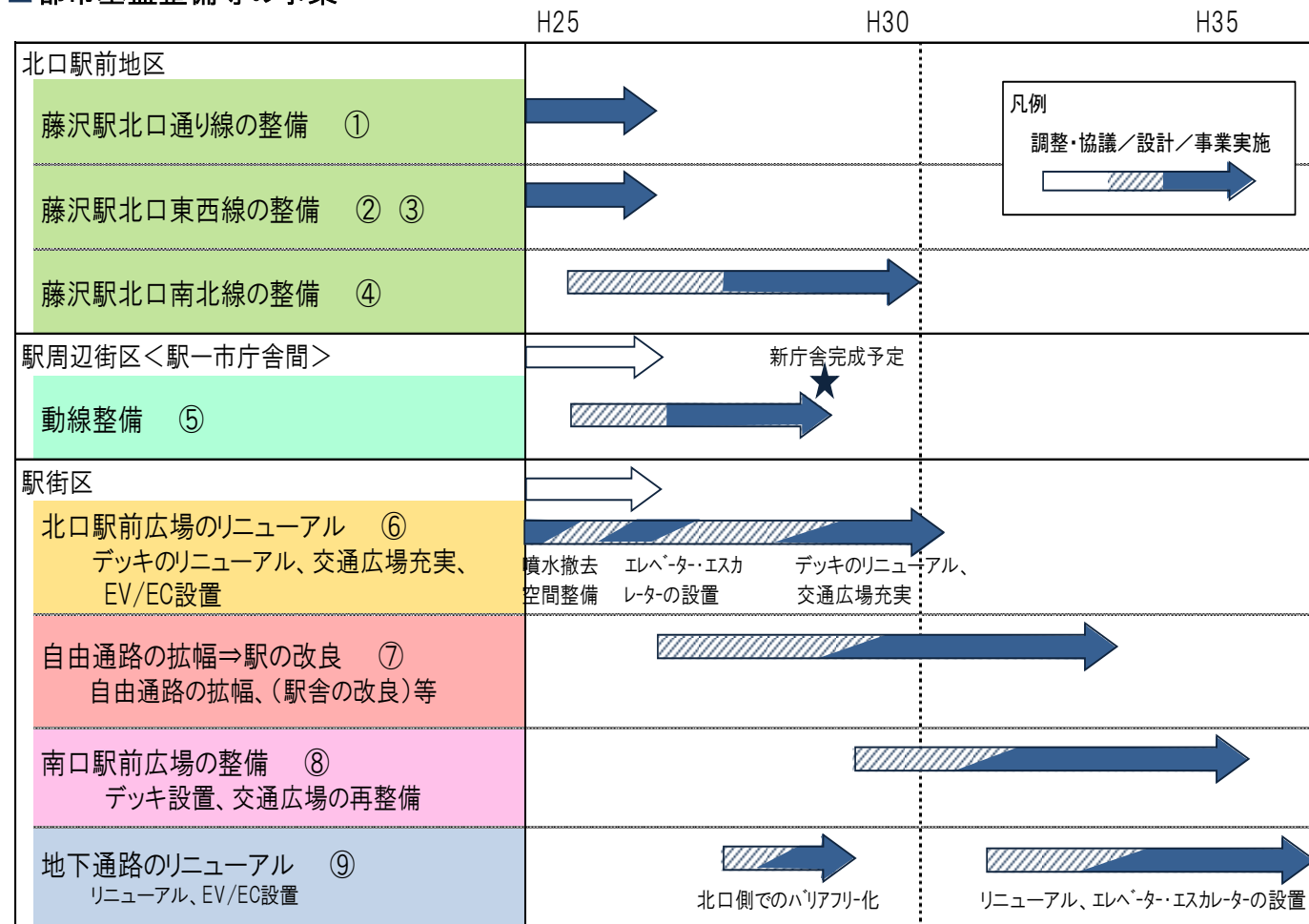
II 事業等の位置図



「藤沢駅周辺地区再整備基本構想・基本計画」に基づく事業計画(案)

Ⅲ 目標スケジュール

■ 都市基盤整備等の事業



■ 都市環境整備のための規制・誘導策づくり

